

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス いきいきっ子クラブ		公表日		年 月 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8		長期休暇では児童発達支援事業と放課後等デイサービスの時間が一緒になる為、ボランティアさんやアルバイトをお願いし対応をしています。配慮が必要なお子さんには個別対応が可能な人員配置をとっています。	おおむね適切ではあるが、長期休暇は環境的に難しいことがあります。今後も長期休暇時はアルバイトをお願いしたり、地域交流の意味も含めボランティアさんを募集したりして対応していきたいです。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8		安心して利用が出来るよう、視覚支援を適切に行っています。また、華美にならないようにしています。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8		清潔に保つことを心掛けて、毎日、清掃や整理整頓を行っています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8		個別の部屋を確保したり、カーテンやパーテーションで区切りすることで落ち着いて活動に取り組めるよう配慮しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8		職種に関わらず、定期的に会議をもち、取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		年に一度保護者の方に評価表の記入をお願いし、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		定期的に情報共有やモニタリングの会議を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8		法人内で年三回研修を行っています。また業務調整を行い、外部の研修にも参加をしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8		保護者や各関係機関(学校、医療)とも情報を共有しながらよりタイムリーな支援を心掛けています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8		モニタリング会議の時間を設け、様子を話し合い、意見を出し合うことで、より良い支援計画の作成や共通理解ができるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8		全職員が目標を常に意識して支援できるように、業務日誌の書式を検討したり、モニタリング用紙を変更したりと工夫をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		8		発達検査等の情報を参考に、目標に沿った支援を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8		広い視野でご利用児に必要な支援が行えるよう、ガイドラインの内容を踏まえながら、具体的に支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		7	1	日々の療育内容は担当を決め、決定しています。長期休暇の活動は会議を設け、チームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		8		職員全体で個別にPDCAを行うことでご利用児にあったプログラムを再編しています。固定した活動と目的に応じて活動内容を変更しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別療育として、身の回りの課題、専門実施の導入(粗大、微細運動、姿勢保持等)をとりいれています。集団療育として、友達との関わり、活動への参加、余暇活動の過ごし方の選択を取り入れています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		その日の活動の支援内容までは共有が来ていないこともある為、改善が必要です。児童発達支援事業の終了後、放課後等デイサービス開始前に打ち合わせが出来る時間の確保ができるよう検討します。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			勤務形態や送迎等の理由で、支援終了後の打ち合わせが難しい時は、翌日に申し送りをして情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			個々の目標、課題を意識して、その日の様子、対応、反応等を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			多くの視点から観察、モニタリングを行い、実態や成長に照らし合わせて見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			スケジュールを決めているが、無理強いはせず選択し、自己決定できる環境を提供しています。「する」「しない」の意思を伝えられるように声掛けをしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			ご利用児を多面的に捉えるため、各関係機関との連携は積極的に行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			学校からの協力のもと、タイムリーな情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			ご利用児が安心して利用ができるよう丁寧な引継ぎを心掛けています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			情報提供書を作成したり、保護者のご意向があれば情報提供の会議を設けています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			必要に応じて迅速な対応をし、助言を仰いでいます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8			長期休暇を利用して、定期的に交流の場を設けています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			送迎時、お迎え時に様子をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			保護者会の開催時に情報交換の場と研修の機会を設けています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			保護者にアセスメントの記入をお願いし、作成後は保護者の承認をもらっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			職員間で情報共有を行い、支援方法を検討して助言を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		年に一回保護者会を開催しています。きょうだい同士の交流の場はニーズを感じておらず、今後の開催についても検討中です。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		職員間で情報共有し、確認を行い対応について話し合いをして対応させてもらっています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月おたよりを発行しています。日々の活動の様子と活動の目的も含めてお知らせできるよう工夫しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		十分留意しています。おたよりの写真も、事前に保護者に承諾をいただき掲載しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	今年度はむさし駐在所の方にお話に来ていただきました。また、コロナウイルス感染拡大防止のため開催出来ていなかった秀溪まつりを、今年度開催する予定です。地域住民との交流の機会を設け、地域に開かれた事業運営が図れるよう努めています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		火災、地震に備えた避難訓練をおこなっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		安全計画は作成していますが、周知が出来ていないため、お手紙等で周知できるよう検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		危険行為があった時やヒヤリハットの事案が生じたときには、随時職員間で共有し、再発防止を検討、対応するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止啓発の為のポスターを作成し、各事業所の掲示することで注意喚起を促しています。また、法人内で研修をおこなったり、チェックリストをおこなっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				